

ありがとうのお話

表現者 たけ氏



たけ氏（右）とスタッフの小牧氏（左）

2001年10月に突然、脳梗塞で倒れ、48時間後に救出されたものの、言語障害、聴覚障害、右手麻痺、失語症という重い後遺症を残す。絶望の中で思い出した「与えられたことを感謝して受けよ」という言葉を心に、現在では「この星に『ありがとう人間』が増えたら明るい星になる」という想いで全国500箇所の無口な講演【ありがとうプロジェクト】に挑戦中。今年2月のH a L Aフォーラムで講演頂きましたが、再演希望のリクエストが最も多く、今回H a L A史上初2度目のゲスト講演を行っていただきます。

（以下小牧氏代読）皆様こんにちは！ ただいまご紹介いただきました、日本一無口の絵売りのたけと申します。本日はどうぞよろしくお願いいたします！

たけは、今ご紹介いただきましたように、2001年に脳梗塞という病気になりまして、今現在も、見た目は健常者そのものですが、話をする事ができません。本日のように講演するかと申しますと、たけが「失語症」という、言葉が出てきにくい後遺症も残っているのですが、辞書などを引きながら打ち込んだ原稿をスクリーンに投影させていただいて、私が代読をさせていただき、たけは身振り手振りで皆さんにお話させていただきます。今回2回目ということで、前回聞いて頂いた方も、重複する部分もあるかと思いますが、また改めてありがとうを思い出していただき、また新たに本日初めて聞いていただく方は、ありがとうのパワーを実感していただけたらと思います。

それでは講演を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

たけ 講演 ありがとうのお話

株式会社シップ様、小松社長様、このたび、創立10周年を迎えられたことに心からお祝い申し上げます。

こうして10周年をお迎えになられますのも、皆様の日々の努力の成果と拝察いたします。これからもますますのご発展と躍進をご期待申し上げます。本日は誠にありがとうございます。

ます。

このようなおめでたいこの席に、講演にお招き預かりまして、誠にありがとうございます（^^）大変に光栄でございます。しかも、2月の講演からあわせまして、2回目になります。本当にありがとうございます。

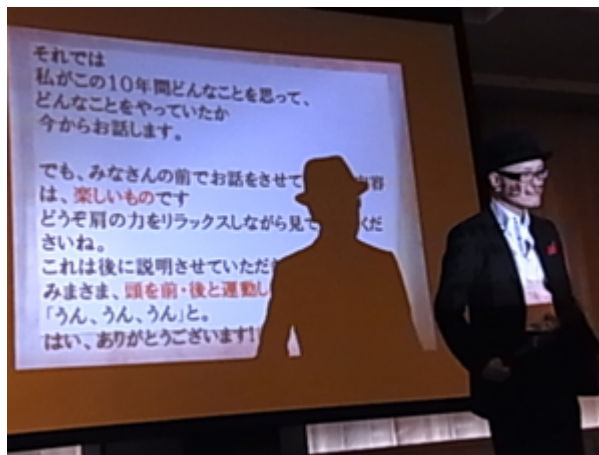
実は、この「たけ」も、発症からこの10月12日なのですが、10年になります。そのこともあり、シッフ様にご縁を感じずにいられません。

10年前、発症したときは、今のようにこんな幸せな毎日がくることがわからず、絶望の日々でした。まさか、しゃべれない男が、このようなおめでたいこの席に、みなさまの前で講演できるなんて、当時はまったく思えなかったことです。絵の素人だった私が、10年も絵売りとして仕事をできたこと、自分ながら奇跡だと思います。

それでは、私がこの10年間どんなことを思って、どんなことをやっていたか今からお話します。

でも、みなさんの前でお話をさせていただく内容は、難しいものではなくて、楽しいものなんです。どうぞ肩の力を抜いて、リラックスしながら見てきてくださいね。

これは後に説明させていただきますが、みなさま、頭を前・後に運動してください。「うん、うん、うん」と。はい、ありがとうございます（^^）！



今、僕はへたな絵に自分のことばをそえて、人さまに売って身を立てています。自称「日本一無口の絵売り」です。

そして、「ありがとう」の本当の力を伝えたいと、小学校、中学校、教育施設、福祉施設は無料で、500箇所を目指して全国をまわってます。今回で、188箇所になりました。

思えば、10年前は、自分のことだけ、思っていました。ですが、ありがたいことに、仕事とは、人様に「喜ばれること」と気づきました。

そして、そう実践したら、不思議な事に、すべてうまくいきました。

だから、病気や困難なことは、ありがとうと感謝すべきことと実感しています。

今日の講演は僕はしゃべることができないから、かわりに、スタッフの小牧に原稿を読んでもらうこと、お許してください。そして、講演の中では、僕が体験した「ありがとう」の奇跡、クイズ、実験などをしながら、「ありがとう」のお話をしたいと思います。そして、みんなに質問するところもあります。ご協力してくださいね。OKですか？

じゃ、さっそくですが人から何かもらったらなんていいいます？

会員様：「ありがとう」

じゃ、人から何かやってもらったらなんていいいます？

会員様：「ありがとう」

そうですね。「ありがとう」ですね。あたりまえのことですね。

では、くるしい時はなんていいいますか？

会員様：「…黙ってる」

言葉も出てこないという感じでしょうか？ありがとうございます。

じゃ、ピンチの時はなんていいいますか？

会員様：「チャンス！」

チャンスと言うことですね！188回目にして初めて、チャンスと言う方がいらっしやいました。はい、ありがとうございます！

たけの場合は、くるしい時もピンチの時も「ありがとう」と言いつづけてきました。ほんまにむりやりでした。

ふつう、障害・病気や苦しい時やピンチの時は感謝は出来ないことですね？僕は、この障害に「ありがとう」と言いつづけてきました。当時、ちっとも「ありがたいこと」がなかったのに…ほんまにむりやりでした。

ちょっと僕のこと言いますね。

10年前の病気をする前の僕は、京都を中心に活動するバンド「たけかめ」で、うたとギターを担当していました。そして、歌を歌うことに、ちょっとだけ自信がありました。

ライブ活動とCDの売りあげものばしていました。僕は、このまま一生、歌いつづけていくものだと思っていました。

それが10年前、2001年10月。突然、脳こうそくを発病。一人暮らしだったので、倒れてから発見されるまでに、まる二日がたっていました。一時は生死の境を、さまよったらしいのです。そして、目覚めた時には、重い障害がのこっていました。

後遺症は、失語症、聴覚障害、発音が困難になる構音障害、右手麻痺。つまり、歌を歌うこと、音楽を聞くこと、ギターをひく右手、僕の得意分野すべてをうしなってしまった。

いままで音楽をやってきたものにとって、これほどの絶望があるのでしょうか。

神様は、僕にとってめっちゃ大事なものを、わざわざ選んでもって行ってしまったみたい。それは34年間生きてきて、はじめての絶望だった。

発病当時、僕はほんとうにくるしかった。

「なぜ自分がこんなことに?? 声の出しかたがわからない。言葉をわすれてしまった。

右半身がうごかない」

しかも、小便はチューブ、大便是オムツの中、排泄は人任せ、食事は鼻からチューブで。ベッドの上でぶざまな姿を見せるだけ。

34歳で、俺の人生は終わった。これ以上、生きてとしても、何ひとつ、いいことはないだろう。「もう死んだほうがまだ」と、くり返し絶望が襲った……

でも、深い絶望があったけど、僕は前から「宇宙学」という立体学問を勉強していて、その中に、こんな言葉がありました。それは

与えられたことを感謝して受けよ
与えられぬことを感謝して受けよ
与えられたことを拒む これ欲なり
与えられぬことを欲する これ欲なり

素直な僕は（笑）この障害を与えられたことだと思って、無理やり、ありがとうと言いつづけたんです。

言葉を忘れてしまったけど、無理やり「ありがとう」と思いつづけました。
オムツ姿やけど、無理やり「ありがとう」と思いつづけました。
右手がうごかないけど、無理やり「ありがとう」と思いつづけました。
助かったことを後悔したけど、むりやり「ありがとう」と思いつづけました。

「ありがとう」と毎日、毎日、思いつづけました。もちろん、心がこもっていないありがとうだったと思いますが…とにかく「ありがとう」と毎日、毎日、思いつづけました。

すると、発病してから二か月ほどたったある日、以前に見た映画・北野武さんの「HANA-BI」の中で、ある刑事が半身不随になった後に絵をかき始めていたシーンを思い出したんです。僕も「絵でもかこう」となんとなく思い、安いスケッチ・ブックと筆を買いました。残った左手で筆をもちました…

まったく不思議だった！

言葉はなかなか出てこないのに、筆ならスラスラとおどるようにかける！絵をかくことは小学生の図工の授業以来の僕なのに、なんと左手で絵が描けるんです。



この発見に感動して、僕は毎日毎日、絵の勉強本を見ながら、むじゃきに絵を描いていました。歌とギターから言葉と筆にもち替え、ふたたび表現できることは、僕の生きる希望になった。

作品ができたなら人に見てほしい。近い将来、路上で展示したいと思った。そして、いつか絵で生活したい、と思うまでになっていました。

僕は、なにができる？

喋ることはできない、
言葉が聞きとりにくくなった
右手も使えない
心臓も弱い、
仕事がない、金もない、住むところもない

「……ない」「……できない」のオンパレードだった。なくしたものを数えたらきりがない。

でも、絵を描きはじめ、希望をもった僕は、逆に「できること」を考えはじめていた。

「左手で絵が描けるし、足で歩いてどこへでも行ける」できることはかなり少ないけど、これで充分と思った。

そして、発病して半年後リハビリ病院に入院中なのに、京都の繁華街、四条小橋で自作のポストカードを路上販売しはじめました。しゃべれないし、言葉もわからないくせに、路上に座りました。われながらいい根性だったと思います…アホでしょう（笑）



これからの人生を開くチャンスが、きっとストリートにあるはずと思いました。

マスコミの取材や、個展の話や、本の出版の話はストリートにあるはず、と強くイメージしていました。



周りの人には「何かあったら、どうするの？」と心配されたけど、アホな僕は、実際に起きないことを前もって心配することはできなかった。なんかあったら、そのときに考えたらいいと思いました。なんでも、まず、やってみることが大事だと思う。

そして、ストリートをやってみると、案外、大丈夫なものだという感じでした。みんなから心配されていた「何か」は、この8年間全然なかったのです。

実感したことは「ありがとう」は大難が小難に、小難は無難になること。

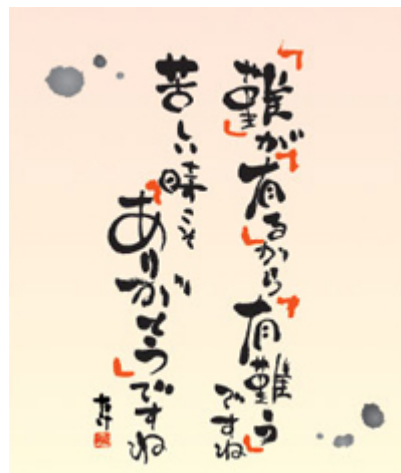
そして、もうひとつ実感したことは、感謝とは自分の口から「ありがとう」と発すること。最初は、心を込めなくてもいい。無理やりでも、マネでもいい。そのうちにその感謝がほんものになる。

今、ストリート始めて8年が経ちました。路上から、絵で生活できる、個展ができる、本が売り出される、マスコミにも出るとイメージ通り、いや、それ以上のことが実現しました。これも、常にいいイメージをして、無理やり「ありがとうございます」と言い続けてきた結果だと思います。

もう今現在はストリートはやってないけど、お陰様で、北海道から石垣島まで、個展・講演をさせていただけるようになりました。ありがたいです。

「有難う」という漢字を見たら、「難が有る」。今の苦しさも困ることも、実はありがたいと感謝することだった。ピンチの時に「ありがとう」です。ピンチはチャンスですね。最大のピンチは最大のチャンスですね。

ピンチの時でも、思いと言葉で運を変えることができる。「ありがとう」はやっぱり宇宙一いい言葉ですね。



またこの「ありがとう」は不思議なパワーがあります。植物が生き活きするとか、病気が治るとか波動がよくなるとか。僕もちょっと実験しました。

たけの部屋にいる観葉植物のクワズイモです。ある日、「ありがとう」「ありがとう」と言い続け、水をあげようと考えたのです。ご存知の通り、しゃべれない僕は「ありがとう」「ありがとう」と心の中で言い、時には口で「あ△◎※う」と言いつづけた。

言い続けたら、思い続けたら……すると……

「ありがとう」「ありがとう」と言い続け、水をあげたら、かわいい芽が3本出てきたのです。このクワズイモはここ4年間くらい居たけど、芽が出たことは初めてです。これも「ありがとう」の効能かな～。とてもかわいい奇跡がやってきた。この写真をよく覚えてくださいね。

この3本のかわいい芽は、今どうなったのでしょうか？更に「ありがとう」「ありがとう」と言い続け、水をあげました。

今は・・・どんだけえ～！

あんなにちっちゃかった3本の芽は、こんなに大きくなりすぎて、とうとう鉢にも入りきらなくなってしまいました。

どんだけ元気あるの！すごいでしょう？

僕は何もしなかった。ただ、「ありがとう」と言い続けて水をあげただけです。やっぱり、「ありがとう」は宇宙一番ええ言葉やね！ね？



「言葉の力」を実際に目にできる写真集があります。『水からの伝言』（PHP出版）という写真集ですが、ご存知の皆さんも多いのではないのでしょうか。

「ありがとう」と「ばかやろう」と書いた2つのペットボトルに、水道の水をいれて、凍らせて、一日置いた水の結晶を撮影する。

まずは「ありがとう」と書いた水道の水を見てください（下図1）。宝石のような美しい結晶ができるのです。きれいでしょ？

これは「ばかやろう」とかかれたほう（下図2）。見てください。かわいそうなくらいむざんに変わります。同じ水ですよ。ペットボトルに書いただけですよ。

僕も「ありがとう」「ばかやろう」の実験をしました。

同じお釜で炊いたご飯を2つの瓶に分けて入れて、1つは「ありがとう」1つは「ばかやろう」と書いたシールを張り付けてみました。1ヶ月後を見てください。

「ばかやろう」は赤や黄色のカビが生えてきて、ちょっと変色していますね。わかります？ それに比べて、「ありがとう」のご飯は、まだきれいな白いご飯ですね。

みなさま、2ヶ月後はどんな風になったか想像してみてください。

2ヶ月後は、こんなになりました。真っ黒！「ばかやろう」は、「ありがとう」に比べ、あきらかに黒く変色しているのが、目でも十分に確認できます。これは同じ実験を何回し



図1「ありがとう」

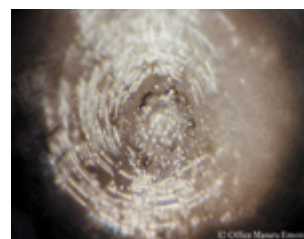


図2「ばかやろう」

株式会社 I.H.M ホームページより転載

でも、やっぱり同じ結果になるから、とっても不思議ですね。

投げかける言葉によって、植物も水もご飯もかわるということを分かってくださいましたか？　きれいな言葉をなげかけると結晶もきれいに、汚い言葉をなげかけると、つぶれた醜いかたちになる。人間のからだの 71%は水と言われるけど、私たちの体でも、同じことがいえるのではないかな？

きれいな言葉、汚いことば。きれいな言霊は「ありがとう、しあわせ、うれしい、たのしい、だいすき、あいしてる」など。汚い言霊は「てめ〜！しね！くそー！キモい、うざい、不平不満、ぐち、わるくち」などです。そういう汚い言霊を平気で使う人はそういう人生をあるくことになってしまう。

この怒りのきたない言葉は、じつは、こわいもの。

これも実験ですけど、瓶の中にハエを一匹いれて、いつものなんでもないときに息をはき入れて密閉する。だいたい30分くらいでハエはしにます。窒息死ですね。

ところが同じように瓶の中にハエを一匹いれて、こんどは「死ね！」とおこっているときの息をはき入れてしめる。皆さん、ハエがどれくらいで死ぬと思いますか？

いつものなんでもないときの息なら30分。怒っているときの息なら

A、3分　B、15分　C、30分

Aと思う方は　手をあげてください。あ、たくさん上がりましたね！　今までの講演の中で、一番多いかもしれません。

Bと思う方は？　これもたくさん手が上がりましたね。ありがとうございます。

Cと思う方は？　おひとりもいらっしやいませんでしたね。

答は……Aの3分が正解でした。パチパチ

おこっている息なら**約3分ほどで死んでしまいます**。窒息死ではなくて**毒死**。毒死ですよ。

誰でもこんな経験があると思うのですが、カアッと怒ると、息がハアハアと近くなって、心臓がバクバクになって、頭が痛くなることが……今までありませんでしたか？　これは、私たちが怒っていると、ものすごい毒が出されているから。自分の毒で自分の体も痛めていることになります。

人間が一度カアッ！と怒るとモルモット12匹を殺してしまうほどの毒素がからだにできて血が黒くなるそうです。そして、その毒にあたって、あたりにいる人の気分が悪くなるそうです。ですから、自分にとっても、いかり、きたない言葉は「損」なんですよ。

逆に、こちらは、佐賀県の医師であり言霊・気功の研究家の矢山クリニックの矢山先生です。矢山先生は、言霊（心）や気功を現場の医療で重視されます。僕も見学させて頂きましたが、「こんな先生がいたか！」と感激しました。その矢山先生の実験では、「感謝のありがたい気持ちを持つと「気」が出やすくなる。その結果、脳波が安定し、リラックスした状態になる。さらに呼吸が深くなり、力が出やすくなる」んだそうです。

この方は、プロゴルファーの西塚美希世さんです。プロになって12年間、勝ち星に恵まれませんでしたが、西塚さんがたまたま買った本がきっかけで、否定的な言葉を口にせず、ピンチのたびに「ありがとう」と言い続けていたそうです。



その結果、ツアー初優勝、夏の大会でも優勝、この12年間、1勝もできなかった西塚さんが、自分の口から発する言葉を変えたらあっという間に2勝を上げました。

みなさま、いいことを聞きましたね（^^）

感謝のありがたい言葉を使うことで、集中力を高め、力を無理なく発揮させることができます。難しい交渉とか、大事な会議とか、ややこしいお客様（笑）にも、ありがとうと唱えたら、きっと良い結果になりますよ。

さてさて、またみんなに質問があります。「これは何ですか？」

そうですね。ブーメランです。投げたら自分に帰ってくるものです。

僕は10年以上宇宙の法則を研究して……丁度、ブーメランのように「投げたものは自分に返ってくる」という法則があるとわかりました。



自分が言った言葉は、自分がした行為は、自らが受け取ることになる。自分がまいた種を自分で刈るというやつですね。これも宇宙の法則ですよ。ブーメランの法則は、あとで実験しますので、楽しみにしてください。

僕は、小学校、中学校の講演に行く時は、「いじめ」について、生徒さんに向けてこんな話をします。ブーメランのように**投げたものは自分に返ってくる**。

ですから、もし、みんなの中で、誰かをいじめている人がいたら、その結果は、自分への「損」になって返ってくるんですよ。そのいじめていたことは、中学生の時かもしれない、高校生の時かもしれない、あるいは、社会に出たときかもしれない。けれど、必ず、

ブーメランのように自分に返ってくる。そして自分にとっての「損」になります。怖いよね～？

いじめ・嫌がらせは「損」ですね。

もし、仲間外れや嫌がらせをしてる人は、いつかのタイミングで、自分のやったことが、そのまま自分まで返ってくるのです。絶対にそうなります。

また、逆にもし、みんなの中に、いじめられている人がいたら、むりやり許してください。陰で「ありがとう」と言い続けてください。難しいことと思いますが、たけが発病した時みたいに、むりやり「ありがとう」と言い続けて下さい。ピンチの時こそ「ありがとう」ですよ。

もし、体のある部分について、嫌なことを言われても、ムリヤリ「ありがとう」と言い続けてください。きっと、その部分はステキな個性となって、自分の味方になってくれます。

自分にとっての「得」になり、やがて「徳」になるでしょう。

たけもそうでした。「もう死んだほうがましだ」と思った障害も、今は「おいしい」と思う。

ボクが街のストリートに出たら、『無口の絵売り』と、人は一発で覚えてくれる。マスコミも取材してくれる。

なにひとつ自己主張を言わず、いつもニコニコしている僕のことを、人は、『いい人』と勘違いしている…… (みなさんちょっと笑ってあげてくださいね～ 笑)



ね、「おいしい」でしょう？ (笑)

短所を長所に変えるとかってよくいうじゃないですか。自分が短所と考えることも、気持ちひとつだけで長所になる。まさに僕の場合は、障害は個性になって、味方になりました。

見方が変わったら味方になるのです。「ありがとう」の一言で (^▽^)

このように万能の言葉「ありがとう」ですが、では、未来のことに「ありがとう」を言うとどんなことになるのか？3年半前、こんなことがありました。

お世話になっている高島屋の大阪店さんから、たけの個展を企画中の時に、広い会場です
から二人展をすすめられました。

その瞬間、すぐに僕の頭に浮かんできたのは、ビートたけ
しさんのことでした。僕の人生を変えてくれた、映画の「H
ANA・B I」を作ってくれた武さんと個展がしたい！と。

誰に相談しても「世界のたけしやろ！アホちゃうか？相手に
されるわけがない」との返事。でも「もし、もし実現した
ら奇跡。あかん場合は当たり前。やる前から諦めたらあか
ん！」

無理を承知でたけしさんに手紙を書きました。そして、ず
うずうしく手紙を送りました。手紙送った後は、先に宇宙・
神に御礼を言いました。「たけしさんと一緒に個展が出来てあ
りがとう」と。何回も。



先に御礼を言ってしまうと実現する。これも宇宙の法則ですな。「感謝の先取り」という。

これは、いろんな場面に使えるね。「〇〇してくださって、ありがとう」。

例えばいま病気の人は、「治ってくださって、ありがとう」、受験のみなさんは「合格し
てくれて、ありがとう」。

つまり、「こうなってほしい」という思いがあれば、過去完了形にして、ありがとうと言
いまくってください。その時は、執着しているとだめ。実現しません。「そうなってくれ
ば、楽しい、幸せだけど…」と思うこと。

この「感謝の先取り」は、こんな事にも使えます。

「きれいにつかったださってありがとうございます」。どこかで見た文句でしょう？最
近、よく見るコンビニのトイレのはり紙。このはり紙を展示したら、本当にトイレがきれ
いになったそうです。「他の人も使いますので汚さないでください」や「トイレはきれい
に使いましょう」と書くより圧倒的にきれいになったという。

さて、話を戻して「たけしさんと一緒に個展が出来てありがとう」と、何回も先に神さ
まに御礼しました。

すると、オフィス北野の方から返事を頂きました。なんと「OK」と。しかも、出展し
てくれる絵は、あの「HANA・B I」に使用されていた絵！

ついてる！このように北野武さんの出展が実現しました。

たけしさんという人間の器のでかさに感激！新聞では「世界のたけしと京都のたけ競演」
「映画きっかけに絵筆」とあります。

これも「ありがとう」を実践するジッセンジャーの効果かもね。

このように、「投げたものは自分に返ってくる」

僕らはそんなシンプルな法則に生かされている。笑顔もそうです。笑顔を投げたら、自分に返ってきます。

「たけさんは笑顔がいいね」とよく言われます。ありがたいことですが、実は、この笑顔は練習で得たもの。

あれはストリート（路上販売）を始めていた時、お客さんから「何か怒っていると思っただわ」と言われました。しゃべれない僕は、何をやっている時でも、「怒っている」とか「無愛想」とか、そう思われてしまう。

このままではやばい！と路上で無理やり笑顔を作った。家に帰っても、練習しました。鏡の前で口の両端を少し上げる。

せっかくなのでみんな、一緒にやりましょう！

指で口の両端を少し上げる。これだけで、いい笑顔になりましたね！たけ、幸せな気分になりました。ありがとうございます！

これで、ほほ笑みができました。

自分がほほえんでいる時、自分があたたかい気持ちにいることを人につげていることにもなる。

カタチからでもよし。マネからでいいんです。

路上で、カタチから入っていた笑顔が続けていると、笑顔が笑顔を連れて来るのです。

そのうちに、心から楽しくなって、自然に笑顔になりましたわ。

自分が笑顔なら笑顔になるような出来事がやって来ると実感しました。

また、この「笑い」もパワーがありますよ。

ナチュラル・キラー細胞って、ご存知の方も多いでしょう。知っている人は？

この細胞は、ガン細胞をやっつけてくれるありがたい細胞。実は「笑い」がナチュラル・キラー細胞を活性化することがさまざまな実験から明らかにされています。

近代医学の最先端は、「笑うこと」なのですよ。

漫才、落語、バラエティーの番組をどんどん見ましょう。

友達、家族のジョーク、チャレにどんどん笑おう。

わけもわからずにとりあえず笑う。笑ったほうが自分にとって「得」ですから。

笑顔は免疫力があります。

これにも、免疫力があります。

それは、最初にみなさまにしてもらった、頭を前後に振る「うん、うん、うん」運動です。みなさま、もう一回一緒にしてみませんか？ うん、うん、うん。

逆に、頭を「いやだ、いやだ」と横に振ると、あ、振らないでくださいね、免疫力が壊れるそうです (>_<)

人間は誰でも同じ作りです。これも宇宙の法則に見えてきましたか？

与えられたことを、「うん、うん、うん」と笑顔で受け入れると、勝手に健康で幸せになる。

与えられたことを、「いやだ！いやだ！」と拒むと病気になる。

与えられることを拒む人が言います。

「私はこんな辛いことがあって、とても笑うことになんかなれません」

「ここが痛いから笑うことになんかなれません」と言う人がいるのですが、全く逆です。

グチ、泣き言ばかり言っているから、また、グチ、泣き言のタネばかりふってくる。ブーメランのように「投げたものは自分に返ってくる」。

宇宙の法則はとてもシンプルですね。

さて、さて、最後に「幸せ」について僕なりに述べます。

僕のところまで、悩みごとを相談しに来てくれる方がたくさんいますが、その 1 人に、自分の不運をなげき、他人の幸せを妬んでしまう人がいました。

また、「幸せになりたい」という女性がたくさんいます。

はい、幸せになりたいと思う人は？ 手をあげて

全員かよ！（笑）とツッコミも入っておりますが、それでは最後の質問です。該当する人は手を挙げてください。

今日、目が見えている人は？

ありがとうございます。みなさん、目が見えてるみたいですね。

目が見えるってありがたいことですね～。みんな、しあわせですね～。

今日、耳でコトバが聞いた人は？

ありがとうございます。皆さん、耳聞こえたみたいですよ。

耳が聞こえるってありがたいことですね～。みんな、しあわせですね～。

今、心臓が動いている人は？

はい、下がっている方いらっしゃるやしませんね（笑）ありがとうございます。

もし、止まったら死ぬ。生まれてから今までず〜っと 24 時間休みなく、動いてくれる。心臓が動くってありがたいことですね〜。みんなしあわせですね〜。

心臓さんにも「ありがとう」でしょ？

では、今日おしっこができた方？

もし、おしっこを出すことができなかつたら、尿毒症という病気で死ぬ。

おしっこできるってありがたいことですね〜。みんな、しあわせですね〜。

体から出たものにも「ありがとう」でしょう？

そのほか、ありがたいことは？ 幸せなことは？

話ができること。手が動くこと。足で歩けること。呼吸ができること。自分でうんこもできること。

みんな、しあわせの海の中にいますよ。みんな、ありがたいことだらけですよ。ありがたいですね〜。みんな、幸せですね。

私たちは神様からたくさんの幸せをもらっているのに、「あれが足りない」「これも気に入らない」「あれもほしい」「これもほしい」「これをかなえてください」「〇〇さんはいいな〜」と不平・不満・ねたみを言っているのです。

普段から当たり前前と思っていることが、実はむちゃくちゃ幸せなこと。なんでもないことが、とてもありがたいこと。

幸せとは、なるものでなく、手に入れるものでなく、のぞむものでなく、気付くものです。

僕も気づいてしまった。この障害で気づいた。

普通に話ができることがどれほど幸せか

普通に歌を聞けることがどれほど幸せか。

普通に手が動くことがどれほど幸せか。

普通に生活が出来ることがどれほど幸せかと。

すべてありがたくてありがたいことだった。

それに気づいたら、けんかすること、あらそうこと、くらべることもどんどんなくなってきた。必要なモノは全部頂いているかも、と気づいてしまった。

もし、神様から「10年前の元の体に戻してあげようか？」と言われたら、僕は「いえ、私は今のままで十分幸せです」と言います。

僕はいまのままでじゅうぶん幸せです。たぶん、みなさんも……

さて、これでお話は終わりますが、たけのお話は一つの情報とってください。

「ありがとう」はすごいパワーがありますよ。ブーメランのように「投げたものが自分まで返ってくる」など一つの情報とってください。

「ありがとう」とたくさん言ったら、いいことがおきる。くるしいときがあっても、がんばらなくても、いいんです。病気になってもがんばらなくても、いいんですよ。

ピンチのときこそ「ありがとう」ですよ。感謝するくせをつければ、いいんです。

さいごに今日は、「ありがとう」について僕なりにいわせてもらいましたが、「ありがとう」よりもっと最強なコトバは「ありがとうございます」なのです。

今日は100人くらいの皆さんが聞いてくれたみたいですね。

じゃあね？

みんなが10回「ありがとうございます」と言ったら、1000回の「ありがとうございます」につつまれたことになりますね??せっかくの機会ですから、みんなで1000回の「ありがとうのパワー」を感じてもらいたいと思います。

いっせいに声にだして「ありがとうございます」を10回いってみましょう。

心をこめなくてもいいんですよ。はずかしいと思う人は「ありがとうございます」と口をうごかすだけ。いいですか?せーの!

「ありがとうございます」「ありがとうございます」
「ありがとうございます」「ありがとうございます」
「ありがとうございます」「ありがとうございます」
「ありがとうございます」「ありがとうございます」
「ありがとうございます」「ありがとうございます」

今日はほんまにありがとうございます!みんなに会えてよかった!

これでたけの無口な講演会を終わらせていただきます。最後までご清聴いただきありがとうございます!

